

(様式第7号)

大阪府高校生留学支援金留学報告書

2013 年 12 月 6 日

学 校 名				支 援 金 交 付 年 度	年 度
氏 名					
留 学 期 間	平成 25 年 1 月 18 日 ~ 25 年 12 月 6 日				
留 学 先	国 名	ニューゼーランド	学校名	St. Hilda's Collegiate School	
専 攻	英語				

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について 2000 字以上で記入してください。

一年間のニューゼーランド留学は、私にとって特技を最大限に活かし、今まで十七年間の人生の中で一番大きなものとなりました。私は日本出発前に留学中にやりたかったこととして、バレーボールとピアノを挙げました。幸運なことには私の両方をやることができ、バレーボールに関しては学校のクラブはもちろんです。地域の大学生チームにも入らせてもらえることができました。大学生バレーは、八月の終わりにオークランドで全国大会が一週間に渡り行われ、私たちのチームは第2部でしたが、そこで優勝し金メダルをもらうことができました。その時の遠征では、優勝したことだけでなく、一週間合宿所で暮らしを共にした分、チームメイトとそれまで以上に仲良くなれ、一糸に馬鹿いったりとても充実して私にとって全2面の面でプラスで、とても良い思い出になりました。九月のチームの表彰式では、MVPなどが選ばれる中、Most improved playerになることができました。ニューゼーランドには一年中21試合というものは比較的まれであり、私の所属していたチームも、この九月の表彰式が今シーズンの最後の機会と、私が他のチームメイトと合える最後のときでした。バレーボールは私の一番大好きなスポーツで、私自身もとても気合いが入っていた分だけあり、チームメイトと離れちゃうのはとても悲しかったです。最後にチームメイト全員が私のおを向いて笑顔で「また戻って来て私たちとプレーしようね!」と言い、手を振ってくれた光景は私の目に焼きつき、これから一生忘れないでしょう。学校でのバレーボールクラブでは、ミズゴが一学期と四学期だけの週一のゲームのみだけでなく、あまりプレー出来なかったのが、その少ない中でもエースとして活躍し、最後の表彰式ではMVPに選ばれることができました。賞状をもらい、トロフィーを持ち帰ることが出来ないので、裏に年号と名前が刻まれることになり、コーチからは「来年も戻って来てこのチームのためにプレーしてちょうだい」と言われとても嬉しかったのですが、戻って来たいのに自分が出来ないのでとても寂しく悲しく、何も言えない気持ちになりました。ピアノに関しては、市のコンクールに出場し、入賞は出来ませんでした。私よりも遙かに上手い同世代の方の演奏を聴いて、とても良い経験となりました。そして、私はこの留学を通して、多くの人と出会い、多くのことを学びました。その中でも、ホストファミリーとの出会いは私にとって大きなものとなりました。私の場合、留学当初の一月からお世話になっていたホストファミリーは、帰国三週間前にお別れされたのですが、約十ヶ月お世話になった彼らには私の留学中の一番の支えとなり、私を大きく成長させてくれた存在となりました。これまでずっとお世話になっていた両親から離れ、不安で仕方なかった私をあたたく迎え入れ、そしてまるで自分の弟のように面倒を見てくれました。私のホームステイ先は、十数年前から留学生の受け入れをしているとことで、ハウスルールをきちんと守り、ご飯もおいしく、とても過ごしやすい場所です。そして、私自身もルールを守ることで、留学前に比べ、規則正しい生活を送ることができました。こういった生活習慣だけではない、物事の考え方もこの留学で変わりました。まず、日本にいた頃の私は今とは比べものにならないくらいおとなしく、感謝の気持ちもなにも等しいくらいでした。ですが、ホームステイし、私自身がお世話になってもらう中で、最初の印象が大変と聞かされた分、日本にいた頃はまともにしていなかったお手伝い、改めて家事の大変さや、私が今までと比べて甘えていたことがありました。そして、「ごきげんなくお世話になって」を私の生活の課題としておきました。この一年間、それを学ぶことが出来たので、日本に帰ってから続けたいと思います。私にはもう一人、とても大きな出会いがありました。それは現地アドバイザーさんとの出会いです。私のアドバイザーさんは現地に住んでいるので、一度日本に帰って来たための留学前に顔合わせをすることが出来、その時からとても仲良くあり、不安に思う面もなく、それは留学が始まる前から同じでした。日本の学校への月例報告のため、月一回アドバイザーさんからお話して

電話はとても楽しみで、毎回一時間近く喋っていました。アドバイザーさんも、毎回楽しい話しかしてくれながら、電話をかけるのがいつも楽しみで、気がきくと喜んでくれたり、私自身で気づいていなかった私の良さを教えてくれたり、いつも私の方こそ元気ややる気をもらいました。そして私が進路のことでも悩んでいたときにも、アドバイザーさん自身の体験談や意見をとても真実に伝えてくれました。留学前の将来の夢は通訳者だというのが、この留学でアドバイザーさんに出会ったおかげで、何が留学に関わる仕事にしたいかという気持ちにもなりました。そして、早く将来の夢を見つけ、進路を決めたいと焦っていた私に彼女は、そんなに焦らなくてもいいことや、やるべきことをしていれば道は開けるから大丈夫とも言ってくれました。私の場合、英語などの外国語関係の仕事に就きたいのは絶対なので、ここからは外国語をより深く学べる大学に入り、自分の将来本当にやりたいことを見つけたいと思います。そして、この一年間多くの人と出会い、異国の文化を知り、そしてヨーロッパに留学をさせてくれた両親に、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていました。と思います。

上記の内容については、公表される場合があることを了承します。

(申請者がしてください。)